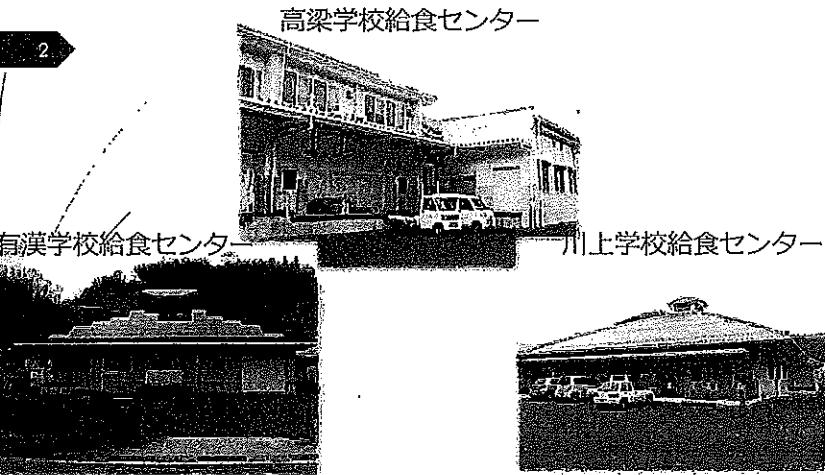


高梁市の学校給食センターの 今後について

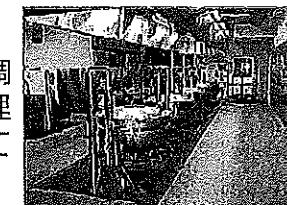


1 現在の学校給食センターの状況について

給食センター	高梁（H12年整備）	有漢（H13年整備）	川上（H11年整備）
提供給食数	1,800食（2,000食）	400食（500食）	330食（750食）
対象園、学校	9幼、9小、3中	2幼、4小、2中	1こ、1幼、2小、1中
職員数（人）	事務2 栄養2（県1市1） 調理18（正9臨9）	事務1 栄養2（県1市1） 調理9（正4臨5）	事務1 栄養2（県1市1） 調理12（正3臨9）
事業費（千円） (28年度決算)	人件費93,984 配送委託28,147 維持管理54,950	人件費41,923 配送委託－ 維持管理27,042	人件費50,605 配送委託10,692 維持管理24,721

2 運営上の課題

- 調理員の確保
 - ▶臨時職員を募集しても確保しにくい状況にある。
- 施設の老朽化対策
 - ▶経年劣化による不具合等の発生が増加している。
- 施設の有効活用
 - ▶施設能力に満たない給食数の調理を行っており、施設維持管理にかかる費用が不効率となっている。



5 今後の方向性について

- ▶市の行財政改革プラン実施計画（案）
「児童、生徒数の減少に伴い調理数が減少しているところであり、効率的な給食調理業務を行うため、高梁、有漢、川上の3学校給食センターの統合を図る。また、管理運営経費や効率性、食の安全性等を総合的に勘案し、民間委託の導入を図る。」

6 4 統合への課題

高梁学校給食センターへの3センター統合が、各学校・園との距離と施設能力を考えた上では望ましいと考えられるが、統合に際しては、次の課題が考えられる。

- ① 高梁学校給食センターの改築、更新等
- ▶炊飯業務を集約することになった場合に、炊飯業務の委託を検討・研究する必要がある。または、炊飯施設（建屋を含む 概算1億6千万円）の増設を検討する必要がある。

7

- ▶回転釜を規模に合わせて更新
- ▶食器などの統一
- ▶書類等も含め、保管場所などの確保
- ▶川上こども園及び備中保育園の3歳未満の園児を対象とした調理施設の増設

8

② 駐車場の確保

- ▶炊飯施設等を増設した場合は、高梁学校給食センター敷地内の配送車及び職員駐車場のスペースがなくなるため、センター近隣に駐車場の確保が必要（約2,000m²）。
- ▶増設しない場合であっても、配送車が9台必要（現在6台）となるため、駐車スペースの対策が必要となる。

9

③ 地産地消率の減少

- センターが一つになることで、野菜等の供給量が増加するため、今まで納入していた地元や業者ができない可能性があり、地産地消率が減少する。

④ 児童生徒等や保護者の理解

- 統合されるセンターの範囲の保護者らが、給食が遠くのセンターで調理され、学校へ配達されることへの理解が必要である。

10

5 調理委託への課題

- ① 安全で安心の給食提供
 - 受託した業者の学校給食調理の技術の有無（実績ある業者への委託）
 - 異物混入や食中毒、緊急時への対応について委託業者と責任負担区分の明確化
- ② 食育
 - 委託業者への栄養教諭の指示・指導体制の確立・連携

11

③ その他

- 現職の調理員・臨時調理員・市費栄養士の待遇
- 使用しない給食センターの跡地利用の検討
- 市内の給食材料納入業者との協議・理解

※資料 児童等の推移

(単位：人)

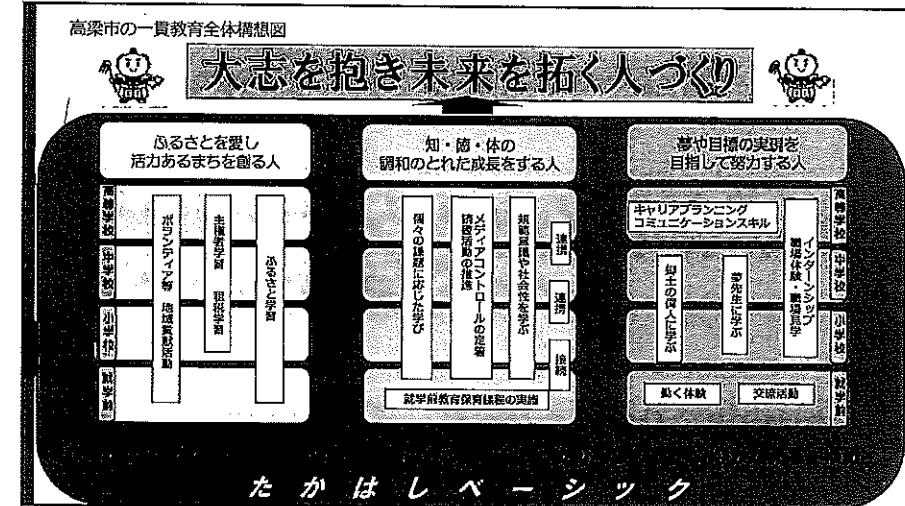
	29年度	33年度
保育園・こども園・幼稚園	733	(推計) 706
小学校・中学校	1,881	1,647

12

高梁市の一貫教育全体構想図

人として社会人として
立派に生きていける人をめざして

13 たかはしベーシック
**たかはし だいすき
 かなえる ゆめ
 はきはき あいさつ
 しっかり まもる**



15 学校園での具体的な取組
 規範意識（しっかりまもる）や
 社会性（はきはきあいさつ）を学ぶ
 ↓
 道徳の時間を要として全ての教育・
 保育活動の中で規範意識や社会性を
 学び実践する機会を重視する。

16 ふるさと学習 →
 ふるさとを知り、愛し、大切にする態度を身に
 付けさせるため、
 【就学前・例】伝統行事に参加する
 【小学校・例】地域の自然について知る
 【中学校・例】地域の産業を学ぶ
 【高等学校・例】地域の一員として
 主体的に参画する
 等といった活動を計画的に行い、全ての子ども
 が体験できるように計画する。

17

郷土の偉人に学ぶ

資料をもとに道徳や総合的な学習の時間等を利用して、生き方について学習する。読み物資料（H29年度作成）は該当地域の人物について、各小中学校1回は扱う。

18

ICT(タブレット、電子黒板)の活用について

19

1 導入の目的

将来高度情報社会に生きることとなる子どもたちにとってICTを効果的に活用した学習機会を充実することが求められている。

電子黒板とタブレットを活用して、次のような授業を目指し、児童生徒の学習意欲と基礎学力の向上を図り、急激な社会変化にも対応できるたくましい高梁の子どもを育てる。

20

1 導入の目的

- ▶より分かりやすい授業
- ▶他校の教室とWeb会議システムでつなぎ遠隔授業を実施し、多様な意見や価値観に触れる。
- ▶今までより自分の考えや意見を主張でき、議論ができるアクティブ・ラーニング型の授業（コミュニケーション能力をも高める）
- ▶より個に応じた授業
- ▶個別補充

2 導入の状況

- ▶導入校・・・成羽中学校、富家小学校、松原小学校
 - ・タブレット・・・各学級の最大児童生徒数
 - ・電子黒板（IWB）・・・各フロアに1台
 - ・学習支援ソフトなど
- ▶研究指定・・・成羽中学校、富家小学校、
(研究協力校：松原小学校)

21

3 活用の状況と効果

- ▶話し合いのツールとしてIWBとタブレットを活用することで活発な話し合いが行われ、様々な意見を出すことができた。
- ▶タブレットからIWBにデータを転送することで時間の短縮と共に、児童の考えを一覧で見ることができ、同じ考え方を色でまとめ、考え方を比較しながら学びを深めることができた。

22

3 活用の状況と効果

- ▶振り返りで、キーワード利用で簡単にアンケート集計ができる時間短縮と共に児童生徒の苦手な分野の把握に活用できた。
- ▶遠隔授業により、意見を交換することで学びを深めることができた。
(例) 特別支援学級の児童同士が冬休みの体験を相互に発表し、質問をする。

23

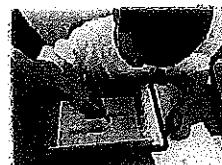
3 活用の状況と効果

- *児童生徒へのアンケートから
(好意的な割合)
 - ① 学習意欲が高まるか → 93%
 - ② 授業が分かりやすいか → 95%
 - ③ 友だちの意見が聞きやすくなったか → 94%

24

25

3 活用の状況と効果



その他

- 友だちの意見もよく分かって知識が広がるの
でもっと使って欲しい。
- 嫌いな教科でも楽しみながら勉強ができた。
- 話し合いをするときに図などが書けてたくさ
ん意見が出た。
- 1人に1台必要だと思う。
- 他の学校の人も使って欲しい。
- △ Wi-Fiがあつたら良い。

26

4 今後の方向

- ▶ Wi-Fiの整備（インターネット接続に
よる調べ学習・プログラミング学習等への
活用のため）
- ▶ 遠隔授業の積極的な活用
- ▶ 市内全校への配備
- ▶ 教員の教育力の向上（夏季教職員研修会、
県総合教育センター情報教育部研修会等）

高梁市図書館の状況について



1 藏書数、来館者数、図書貸出数

	2018/1月末現在	2018/1月期	2017/6月期
藏書数（冊）	129,965		
来館者数（人）	659,993	49,455 (1,595人/日)	48,968 (1,632人/日)
図書貸出数（冊）	215,781	14,867 (480冊/日)	16,874 (562冊/日)

(参考) 新総合計画、総合戦略 一人あたりの貸出冊数
H25年度 : 2.1冊 → H31年度 : 10冊

H29.2.4～H30.2.3 : 217,410冊/31,212人 = 7冊/人

2 駐車場利用

	駐車可能台数	2018/1月期 日平均利用台数	2017/6月期 日平均利用台数
駅西駐車場	20	117	136
駅東第1駐車場	71	10	25
駅東第2駐車場	42	79	76
計	133	206	237

3 その他

	概要	2018/1月期	2017/6月期
移動図書館 貸出冊数（冊）	月2回、30箇所 2,000冊迄毎月入替 日用品販売13箇所	1,538 (26冊/人×2ヶ月、回)	2,247 (37冊/人×2ヶ月、回)
観光案内（件）	四館共通券 レンタサイクル 荷物預かり 集合タクシーリマーケット 雲海タクシーリマーケット	254	347

(参考) 経済波及効果 約12億円 … 高梁市産業連関表による試算

(参考) 移動図書館ルート 30箇所 ※青字の箇所で日用品販売

- 第1.3火曜日 川面小→川面市民センター→巨瀬小→落合市民センター→津川市民センター
- 第1.3水曜日 有漢西小
- 第1.3木曜日 福地小→やまびこかわ→宇治市民センター→宇治小→松原小
- 第1.3金曜日 津川小
- 第2.4月曜日 玉川市民センター→ささゆり苑→中コミュニティ→吹屋連絡所
→成羽川莊→日名神楽公園
- 第2.4水曜日 川上小→西山郵便局横→富家小→ゆめタウン→中電社宅前
- 第2.4木曜日 巨瀬市民センター→玉川小→ボレカ→有漢東小
- 第2.4金曜日 中井小 →高倉市民センター →中井市民センター

2017年度 高梁市図書館 利用者アンケート 最終集計結果 (抜粋版)

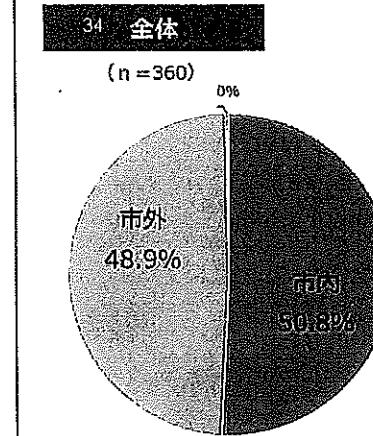
2017年11月28日

作成：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
(指定管理者)

<調査概要>

対象館	高梁市図書館
実施期間	2017年10月28日（土）～11月5日（日）
実施時間	9:00～21:00
対象者	高梁市図書館の来館者
手法	来館者に職員が紙の調査票を配布し、カウンターにて回収
有効回答数	360件
質問項目数	17項目

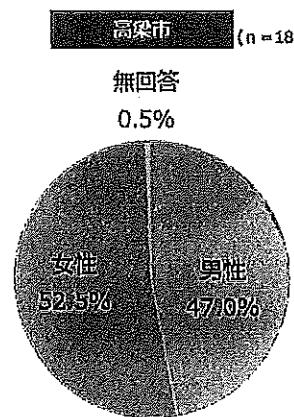
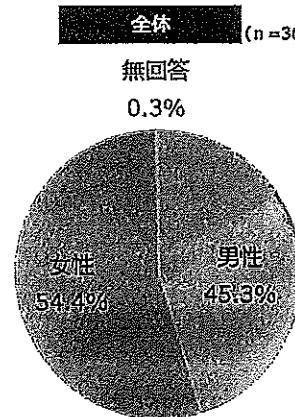
<回答者属性（居住地の市内外比率）>



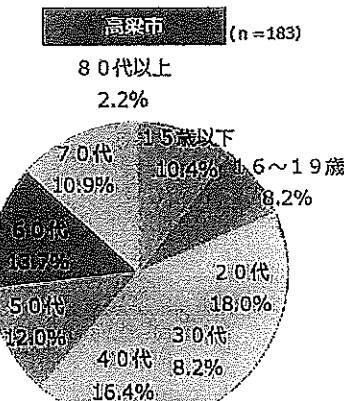
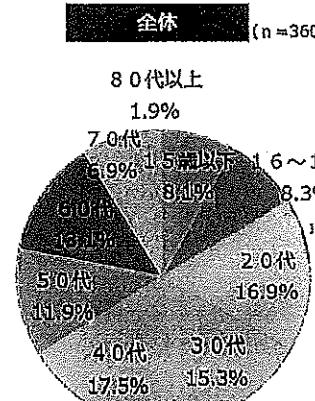
<内訳>

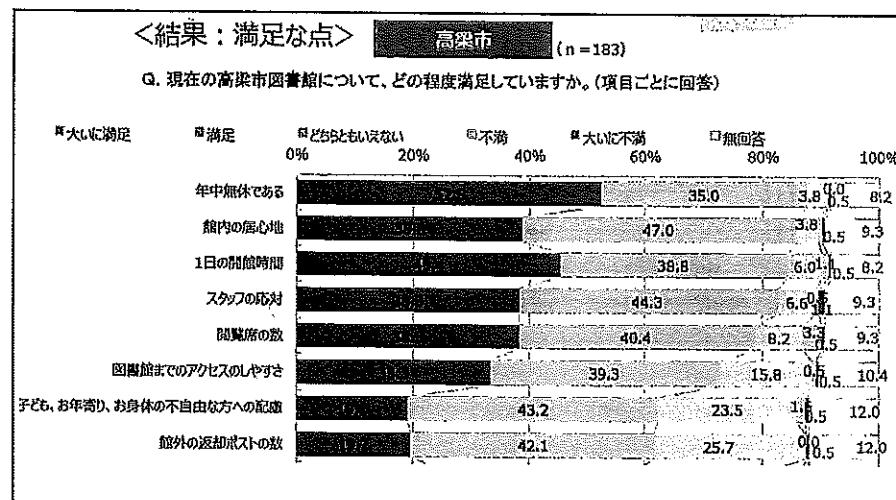
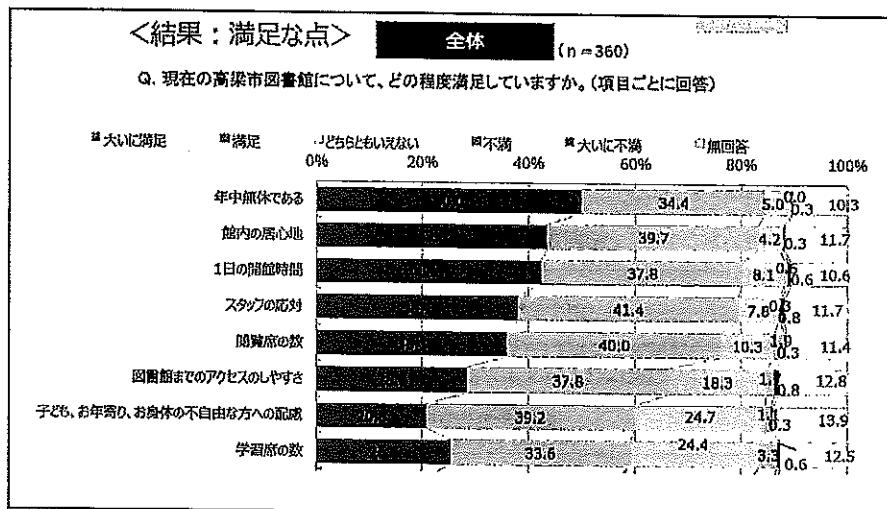
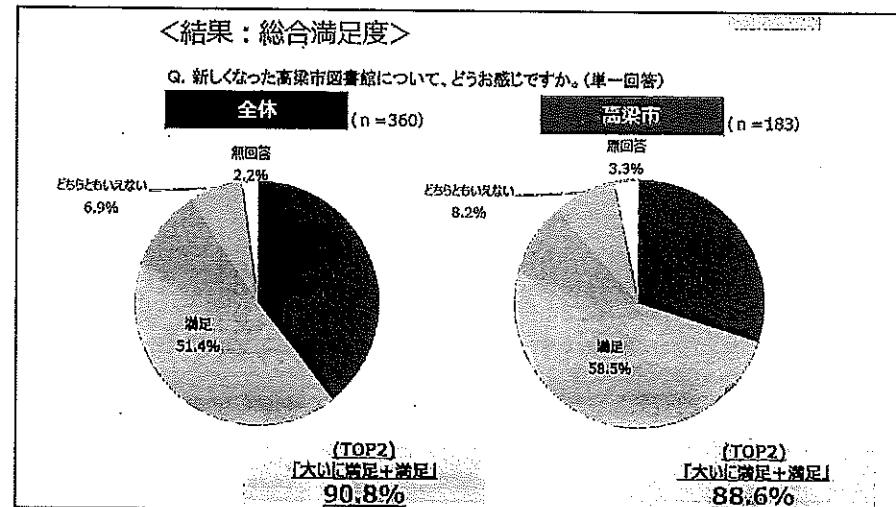
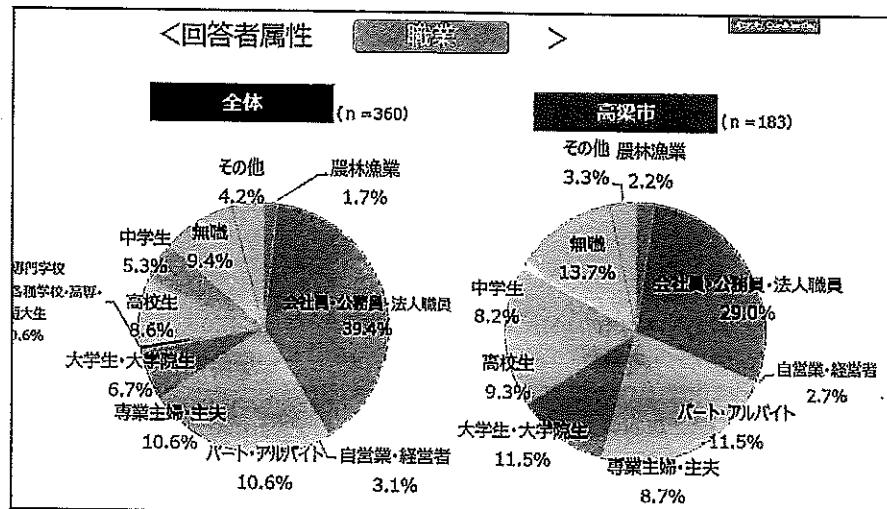
問1～4	n	%
1 高梁市	183	50.8
2 桜社市	18	5.0
3 新見市	11	3.1
4 井原市	2	0.6
5 真庭市	5	1.4
6 吉備中央町	10	2.8
7 美作市	0	0.0
8 今治市	46	12.8
9 岡山市	39	10.8
10 市内その他	24	6.7
11 市外その他	21	5.8
無回答	1	0.3
全体会	360	100.0

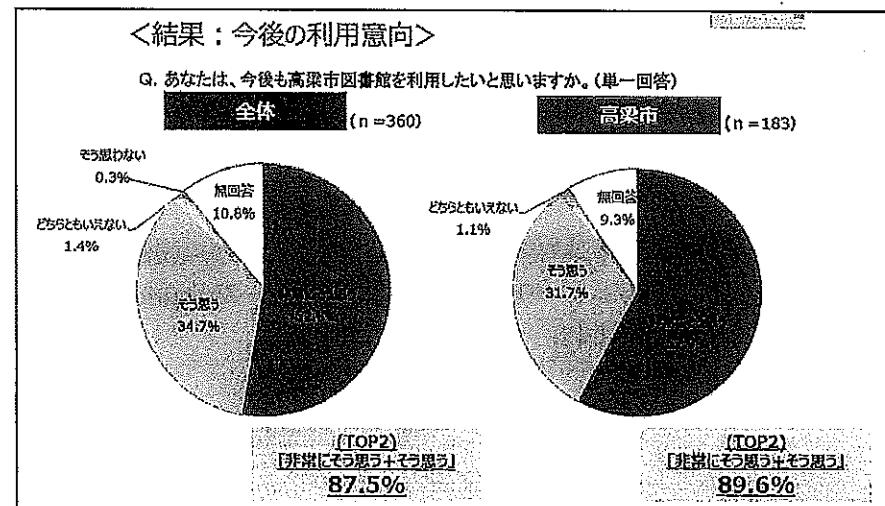
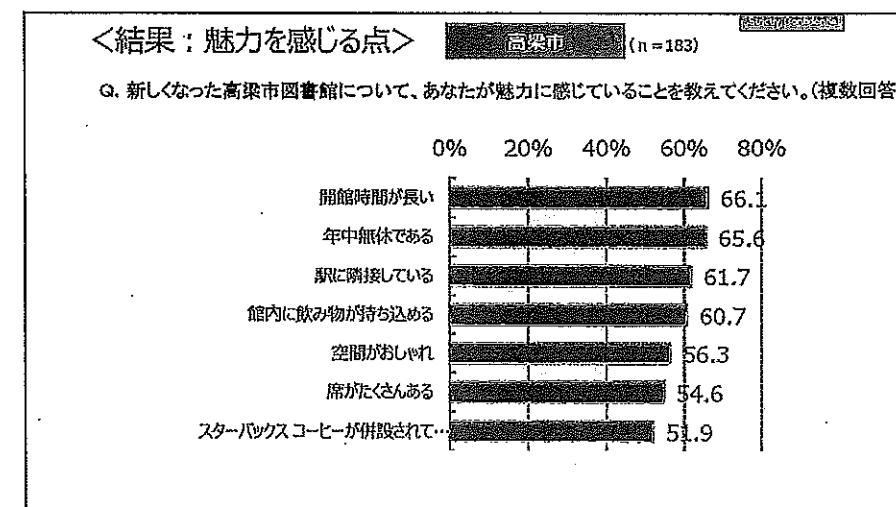
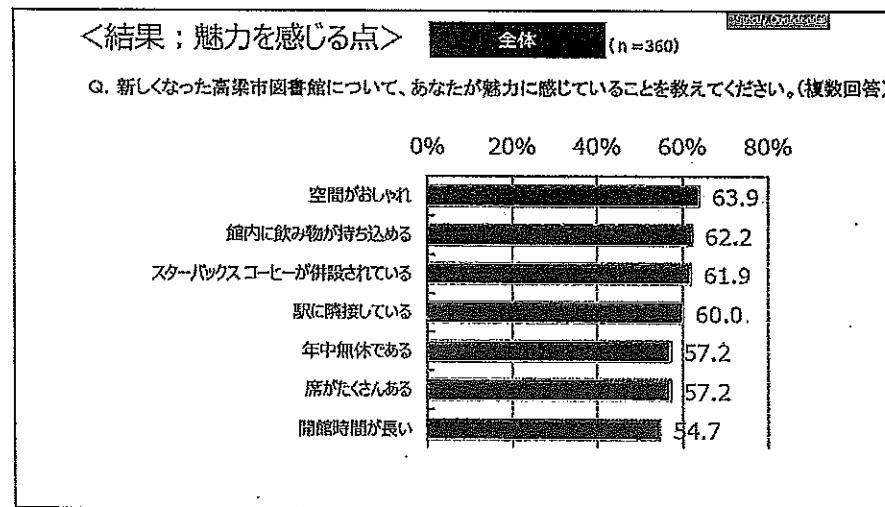
<回答者属性　性別 >



<回答者属性　年齢 >







高梁市のスポーツ施設について

1 概要

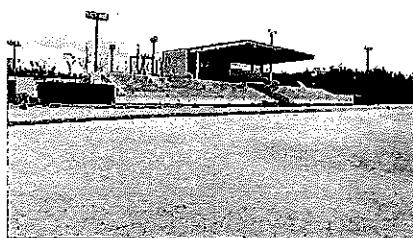
- 1) 施設数 平成28年度
運動公園4施設
単独施設14施設 計18施設
- 2) 利用者数 平成28年度 236,787人
- 3) 整備年度 昭和50年代から平成16年にかけて、旧市町が新設整備
- 4) 状況 ①生涯スポーツ、広域的なスポーツ交流の拠点として、施設は有効に機能している。
②施設の多くは老朽化が進んでおり、維持管理費も年々増加傾向にある。

2 改修整備中の事業

- 1) 神原スポーツ公園改修整備事業
・平成27～29年度 スタジアムの整備
- 2) 旧川上中学校跡地整備事業
・平成27～30年度 グラウンドゴルフ場（土）の整備
- 3) 有漢スポーツパーク グラウンドゴルフ場整備事業
・平成27～30年度 グラウンドゴルフ場の1コース増設整備
- 4) 旧成羽高等学校跡地関連事業
・平成27～30年度 旧体育館の改修整備

<改修整備の状況>

- 1) 神原スポーツ公園改修整備事業



- 2) 旧川上中学校跡地整備事業



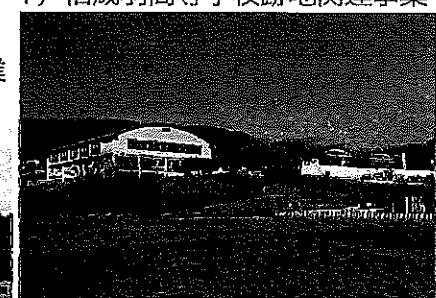
<改修整備の状況>

- 3) 有漢スポーツパーク

- グラウンドゴルフ場整備事業



- 4) 旧成羽高等学校跡地関連事業



3 方針

- 1) 利便性や地域のバランス、施設の規模、必要性等を十分に考慮・検討しながら、計画的に改修・整備を行う。
- 2) 広域的なスポーツ交流を推進するため、大規模な大会を見据えて、競技種目ごとに特化した改修や整備を進める。
 - ①神原スポーツ公園 サッカー
 - ②なりわ運動公園 野球、ソフトボール
 - ③有漢スポーツパーク グラウンドゴルフ

神原スポーツ公園多目的グラウンド改修整備工事 完成記念イベント

☆日時 平成30年3月10日(土) 正午から
※開場：午前11時

☆タイムスケジュール

時	間	内	容
正午～	午後3時15分	完成記念式典	
午後1時30分～	午後3時15分	プレシーズンマッチ 吉備国際大学シャルム岡山高梁 V.S I-NAC神戸レオネッサ	



※入場には整理券が必要です。
スポーツ振興課および(一社)高梁スポーツクラブで配布します。